

科目名	高次脳機能治療学実習				授業の種類	実習	講師名		
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		前期	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

脳損傷によって引き起こされる高次脳機能障害は、しばしば日常生活に大きな影響を及ぼすことになる。損傷部位や観察および面接の結果をもとに症状を推測し、各障害像に合わせた神経心理学評価を選択、実施し、適切な対応方法を計画できるようにすることを目的とする。

〔授業全体の内容の概要〕

高次脳機能障害評価学の基礎知識を基にして、各症状の発生経緯・ADL上の問題行動・評価・介入ストラテジーを関連付けて、講義および演習にて学習する。

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

脳損傷患者の基礎情報(損傷部位・生活上で見られる症状など)から各障害像を推測し、適切な評価・介入方法を計画できることを目的とする。

回数	講義内容
1	高次脳機能障害の介入の基本(OTの視点を含めて)
2	高次脳機能障害の評価の概要と評価計画の実際
3	意識・注意機能障害と脳画像①
4	意識・注意機能障害と脳画像②
5	意識障害と認知機能障害について
6	意識障害と認知機能障害および注意機能障害への介入
7	半側空間無視および注意障害について
8	半側空間無視の評価
8	半側空間無視、視覚失認とその他の失認への介入
10	記憶の障害について
11	記憶の障害への介入
12	言語の障害について
13	言語の障害への介入
14	感情障害について
15	失行、行為・行動(社会的行動障害と感情障害)の障害について
16	失行、行為・行動(社会的行動障害と感情障害)の障害への介入
17	遂行機能障害について
18	前頭葉機能障害・遂行機能障害への介入と脳画像の読影
19	社会的行動障害とその介入(治療計画立案を含めて)
20	症例を用いた評価計画の立案
21	症例を用いた評価と治療計画の立案
22	症例に合わせた治療プログラムの実践
23	まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法学ゴールド・マスター・テキスト高次脳機能障害学作業療法学 改定第2版		メジカルビュー
CD-ROMでレッスン脳画像の読み方 第2版		医歯薬出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

小テスト・定期試験の結果を合わせてテスト点数の評価を行う。